

2005年11月18日

株式会社マルハグループ本社

2006年3月期中間連結決算説明会



グループ再編の進捗状況

		00年3月期	05年3月期	05年9月期	00対比増減
国内	子会社	115	85	79	-36
	関連会社	30	24	24	-6
	国内計	145	109	103	-42
海外	子会社	47	37	35	-12
	関連会社	31	22	21	-10
	海外計	78	59	56	-22
関係会社合計		223	168	159	-64

国内	親会社	1	1	1	0
	連結対象子会社	64	67	62	-2
	持分対象子会社	0	0	0	0
	持分対象関連会社	6	6	5	-1
	国内計	71	74	68	-3
海外	連結対象子会社	19	19	19	0
	持分対象子会社	4	2	2	-2
	持分対象関連会社	4	4	4	0
	海外計	27	25	25	-2
連結グループ計		98	99	93	-5

成長戦略への取組み

海外各販売への取組み

- オルカベイ・シーフーズ社(米国)への資本参加(2005年10月31日公表)
 - 米国での加工・販売を強化
- 既存合併事業の充実
 - タイのキングフィッシャー社工場増設等
- 欧米・中国などへの更なる積極的な取組み
 - 中国委員会の設置等

国内事業の強化・拡充

- 加工・販売分野の充実
 - 北州食品の子会社化(2005年10月20日公表)
- 既存国内工場の充実・活用
 - 下関食品工場新設など
- 荷受事業の再編
 - 北九州魚市場と佐賀魚の合併(2005年11月14日公表)など
 - 水産物サプライチェーンの構築



2006年3月中間期連結経営成績概要

	実績	計画	計画比	前年比
売上高	3,483億円	3,600億円	96.8%	94.6%
営業利益	62億円	80億円	77.5%	84.6%
経常利益	70億円	68億円	103.6%	110.9%
当期純利益	12億円	27億円	42.7%	53.7%

計画との主な相違点

1. 海外漁業のえび不漁・養殖魚市況低迷等による漁業 / 養殖ユニットの減益(7億円)
2. すりみ・フィレ-市況堅調による北米ユニットの大幅増益(+6億円)
3. 鮮魚価格低迷による荷受ユニットの減収(64億円)
4. 円安に備えての為替ヘッジによる営業外収益増(+14億円)

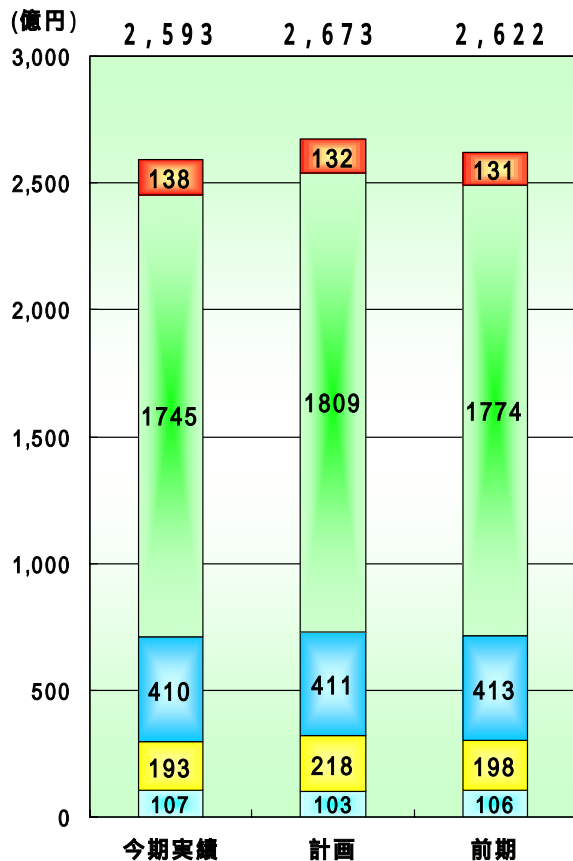
2006年3月中間期のユニット別実績

(単位：億円)

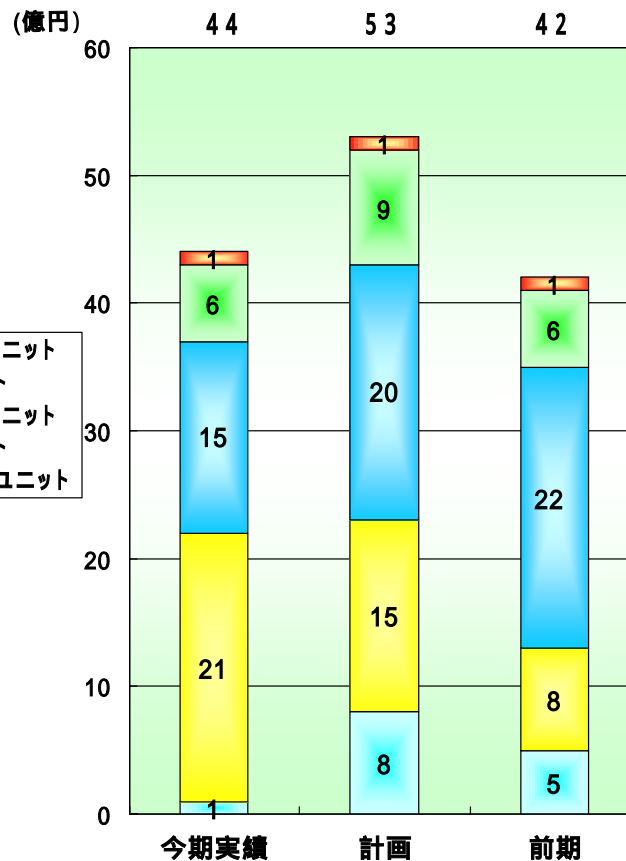
	売 上 高					営 業 利 益				
	実績	計画	前期	増 減		実績	計画	前期	増 減	
				計画比	前期比				計画比	前期比
	a	b	c	a-b	a-c	d	e	f	d-e	d-f
漁業・養殖ユニット	107	103	106	4	1	1	8	5	7	4
北米ユニット	193	218	198	25	5	21	15	8	6	13
水産商事ユニット	410	411	413	1	3	15	20	22	5	7
荷受ユニット	1,745	1,809	1,774	64	29	6	9	6	3	0
戦略販売ユニット	138	132	131	6	7	1	1	1	0	0
水産セグメント計	2,593	2,673	2,622	80	29	44	53	42	9	2
業務食品ユニット	308	330	317	22	9	3	7	6	4	3
市販食品ユニット	267	262	255	5	12	12	14	13	2	1
化成品ユニット	55	65	56	10	1	6	5	5	1	1
ｱｼﾞｱ・ﾁﾅｱﾞﾅユニット	123	134	132	11	9	4	6	7	2	3
食品セグメント計	753	791	760	38	7	25	32	31	7	6
保管・物流セグメント	78	76	76	2	2	11	10	8	1	3
その他事業	59	60	222	1	163	2	3	7	1	5
全社						20	18	15	2	5
合計	3,483	3,600	3,680	117	197	62	80	73	18	11

水産セグメント

売上高

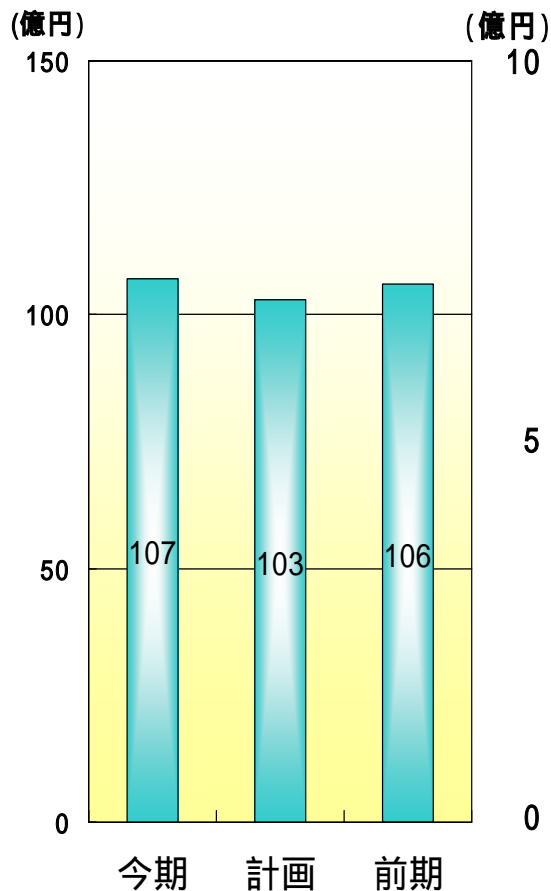


営業利益

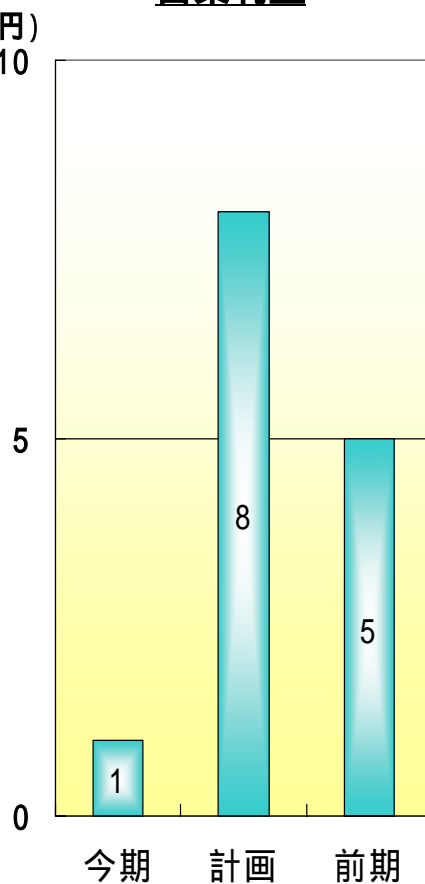


漁業・養殖ユニット

売上高



営業利益



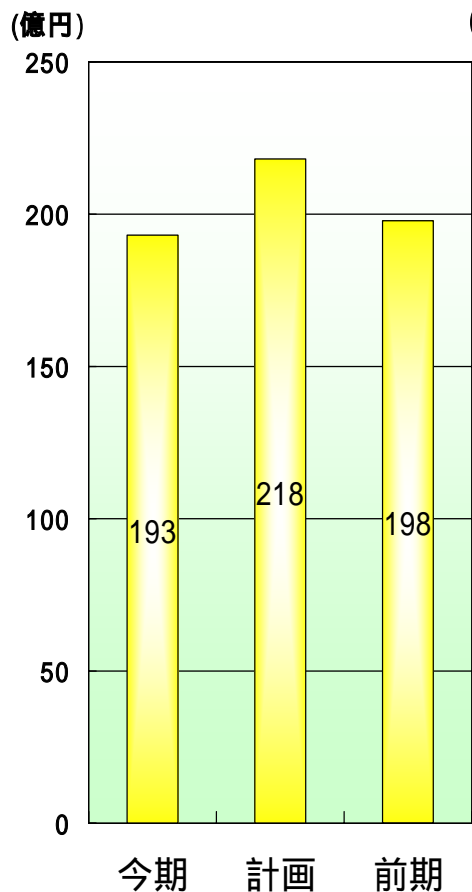
トピックス

1. 海外合弁えび事業
漁獲不振
燃油高騰
欧州販売減
2. 養殖魚(はまち・カンパチ)
市況低迷
3. 養殖クロマグロの出荷は
計画どおり

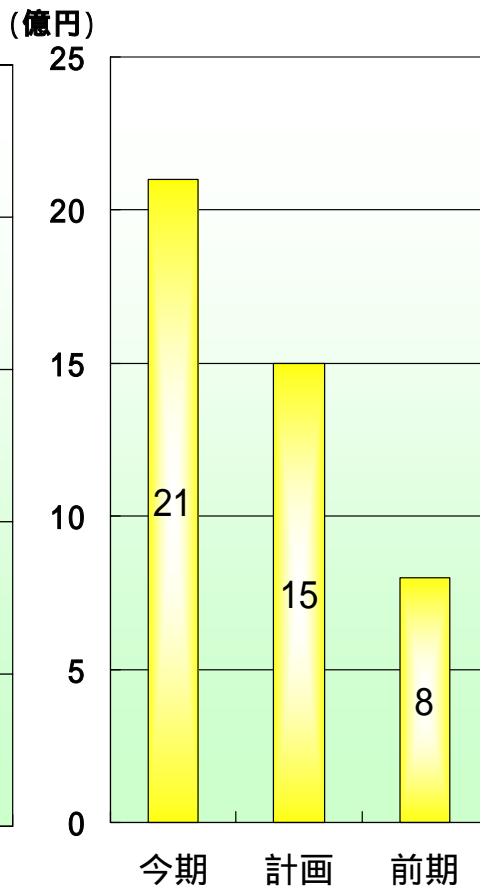


北米ユニット

売上高



営業利益



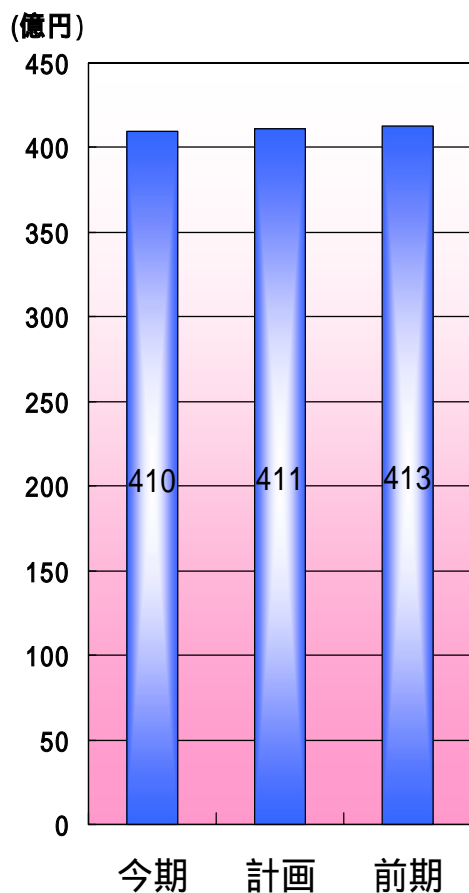
トピックス

1. すりみ・助宗フィレー
単価上昇により増収・増益
2. 魚卵の買付け数量減
3. フィレー生産ラインの増設
(市況変動への対応)

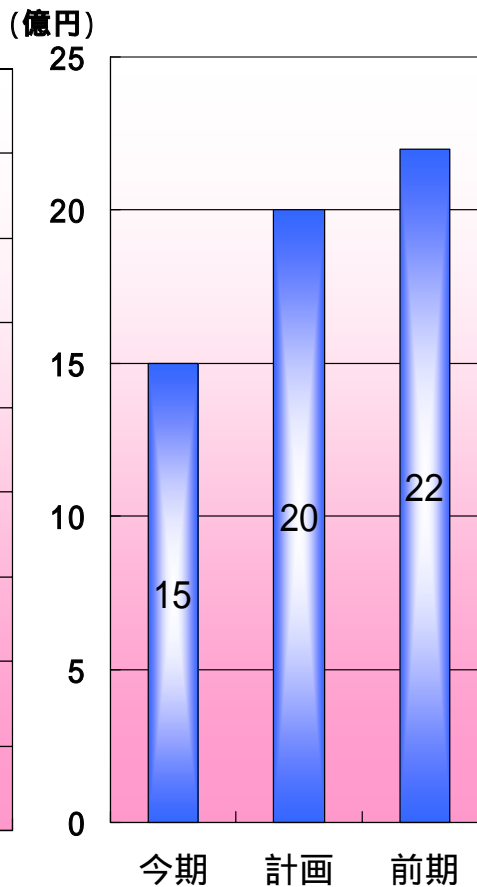


水産商事ユニット

売上高



営業利益



トピックス

1. えび・かに取り扱い減少
2. 北方魚・貝類の増収
3. 円安・燃油高騰による輸入コストのアップ

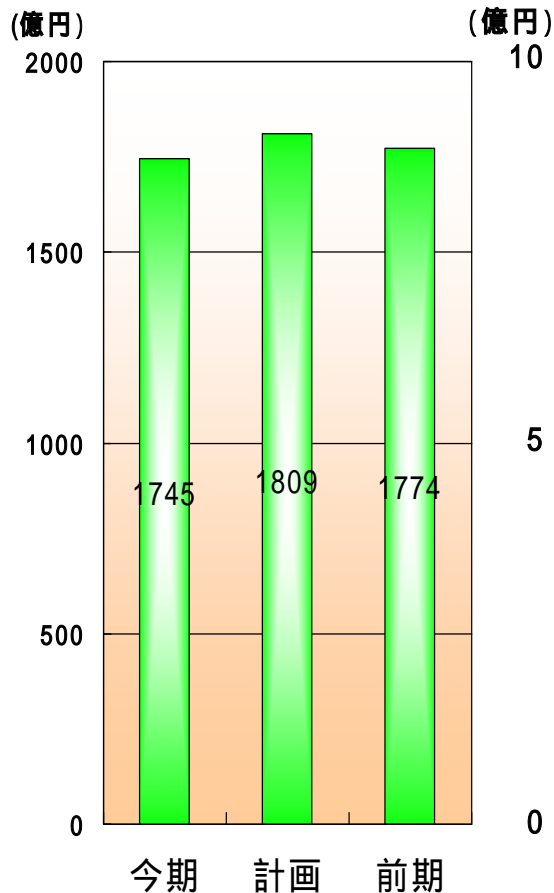
マルハの取扱数量及び魚価(参考)

	05/09	04/09	増減
数量 (千トン)	122	127	5
魚価 (円/Kg)	622	609	13

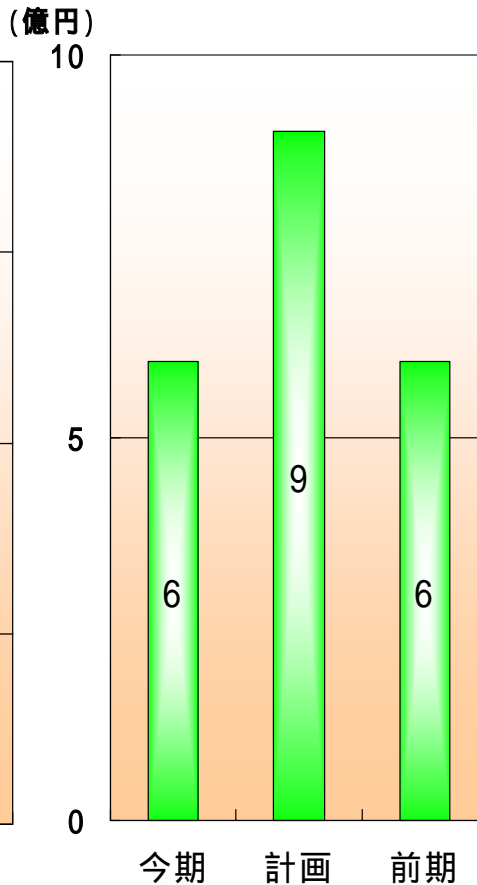


荷受ユニット

売上高



営業利益



トピックス

1. 取扱数量(千トン)・単価(円)

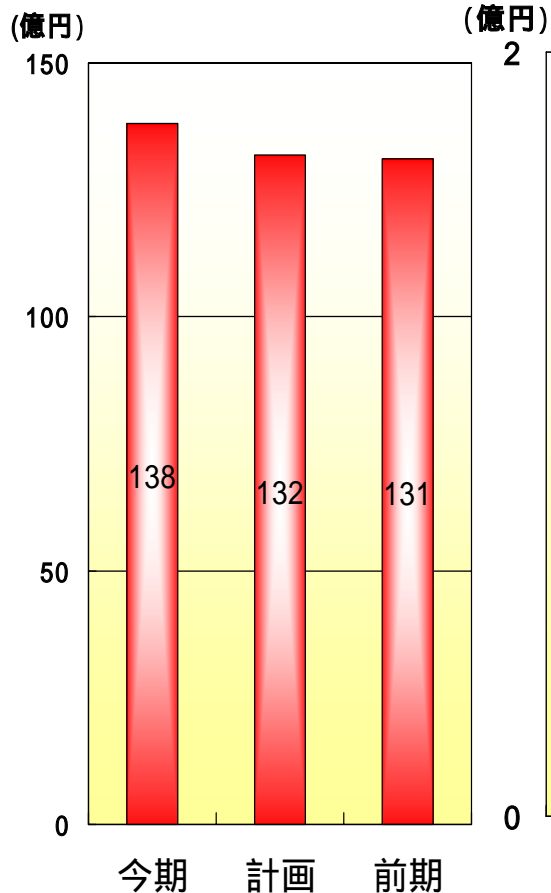
		05/09	04/09	増減
冷凍魚	数量	90	96	6
	単価	790	709	81
鮮魚	数量	89	94	5
	単価	725	733	8

- 2. 輸入冷凍魚
コストアップ、取扱量減少
- 3. 鮮魚の価格低迷
- 4. 効率化・経費削減努力

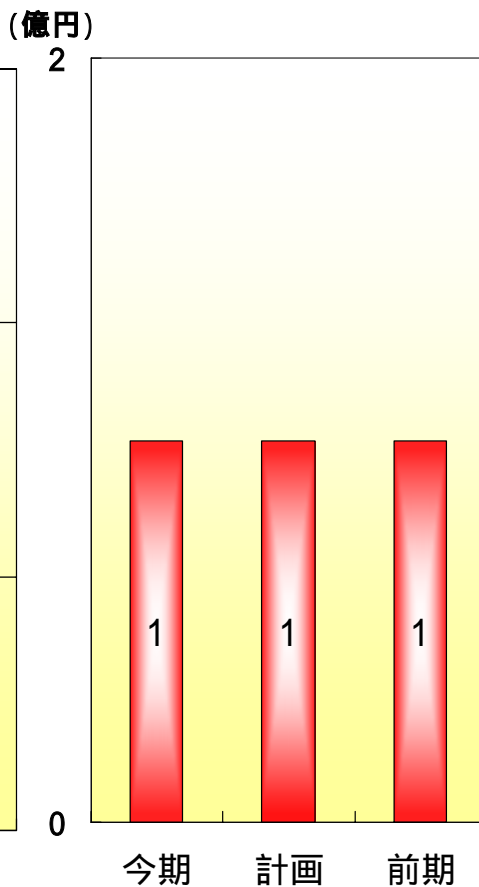


戦略販売ユニット

売上高



営業利益

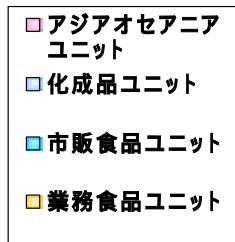
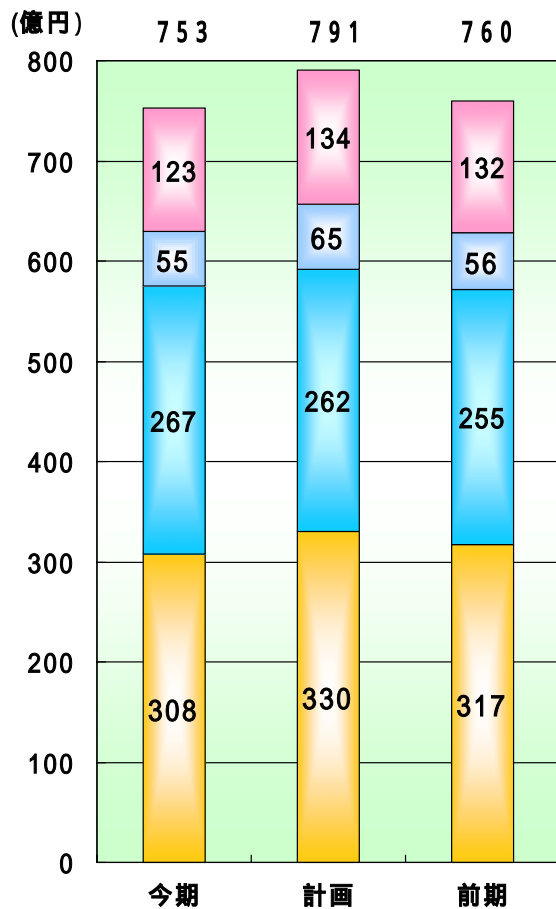


トピックス

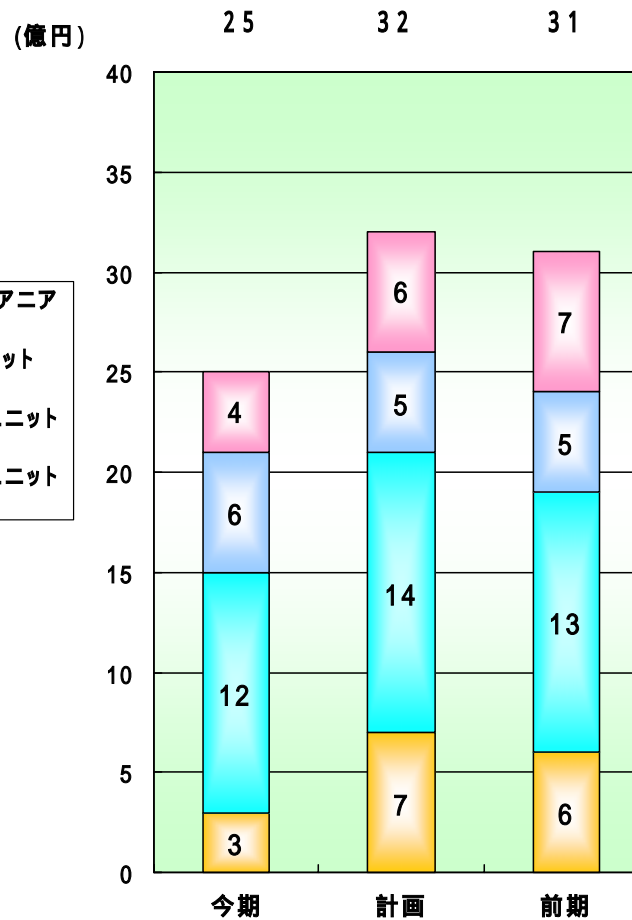
1. 積極的な販売による増収
2. 魚価上昇によるコスト増

食品セグメント

売上高



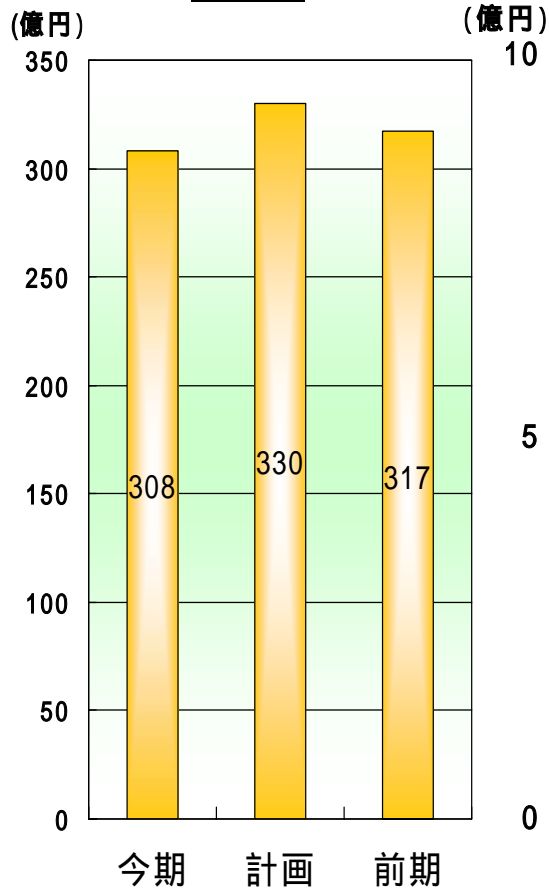
営業利益



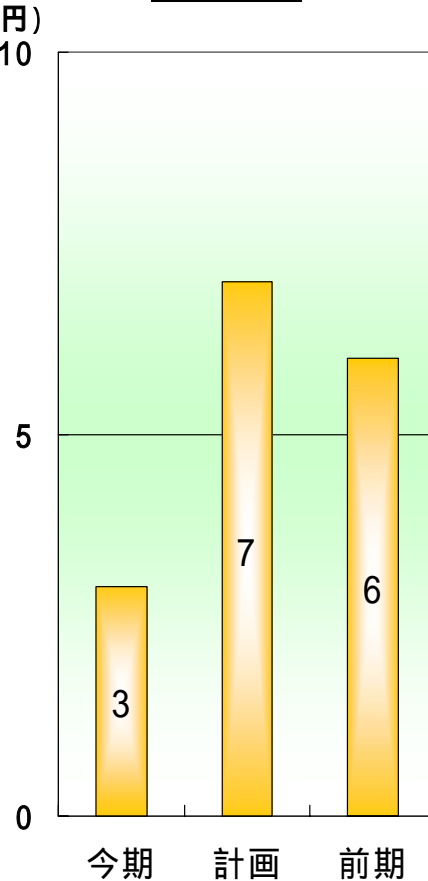


業務食品ユニット

売上高



営業利益

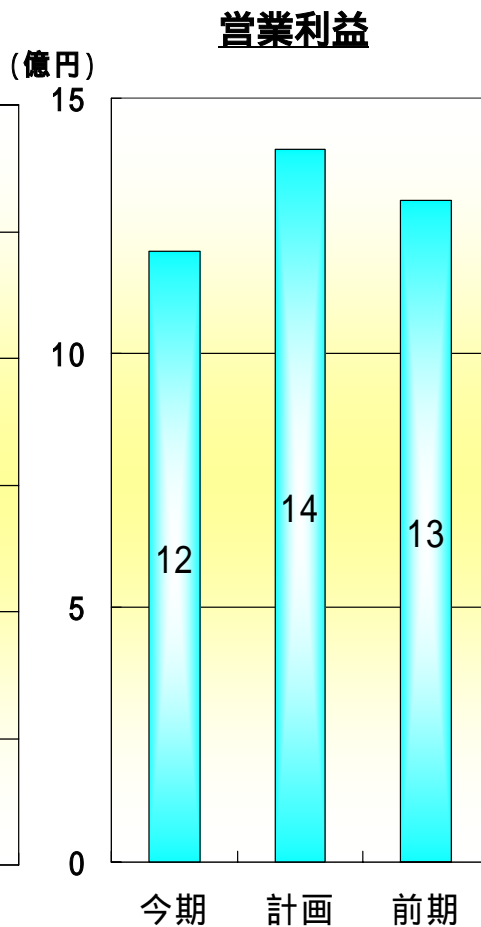
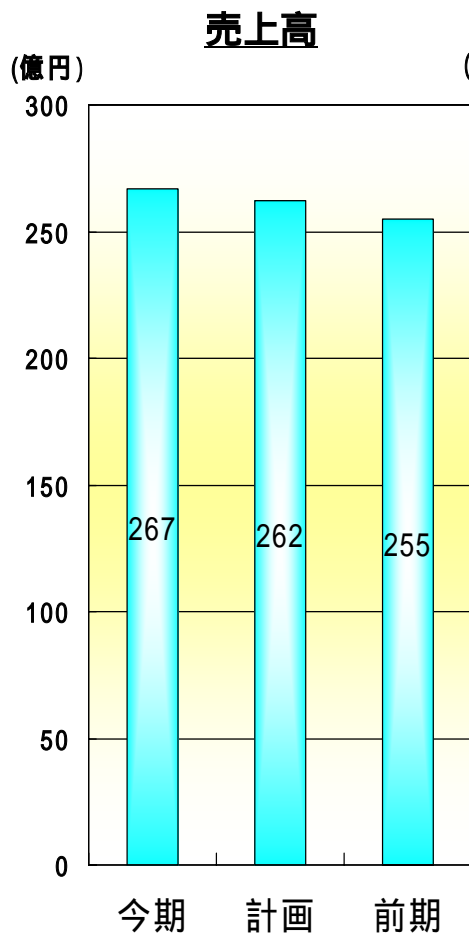


トピックス

1. 白身魚等の原料高によるコストアップ
2. 骨までおいしい魚販売ルート構築中
3. ペットフード代行業務終了



市販食品ユニット

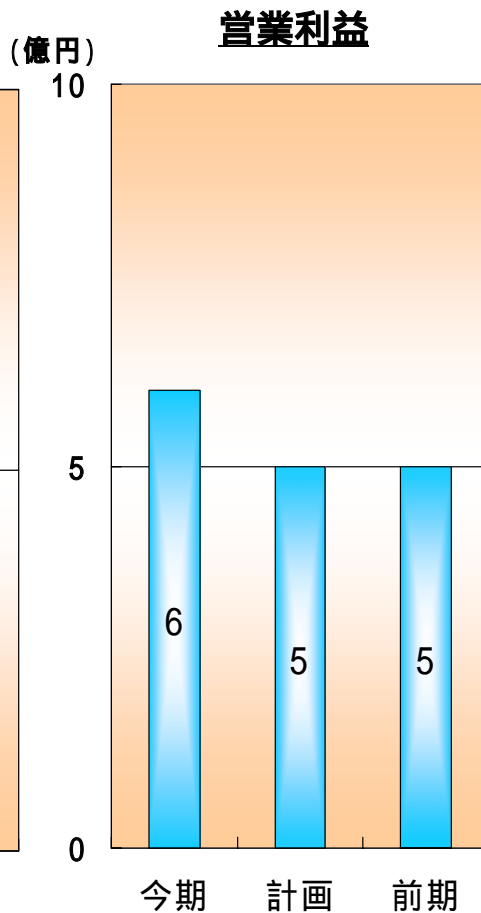
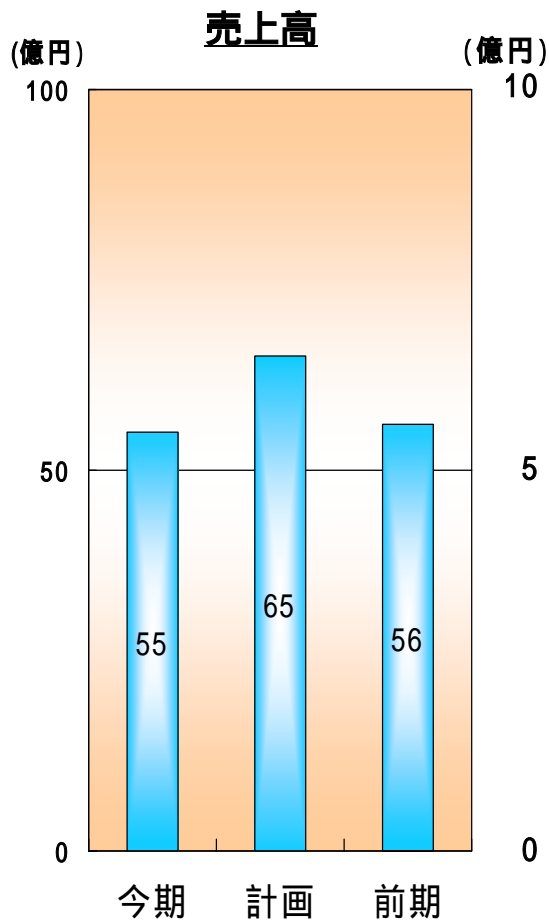


トピックス

1. カップゼリー販売増
下関工場着工
2. 特定保健用食品
リサーチソーセージ
新発売と広告宣伝費増
3. ちくわ原料(すりみ)高騰



化成品ユニット

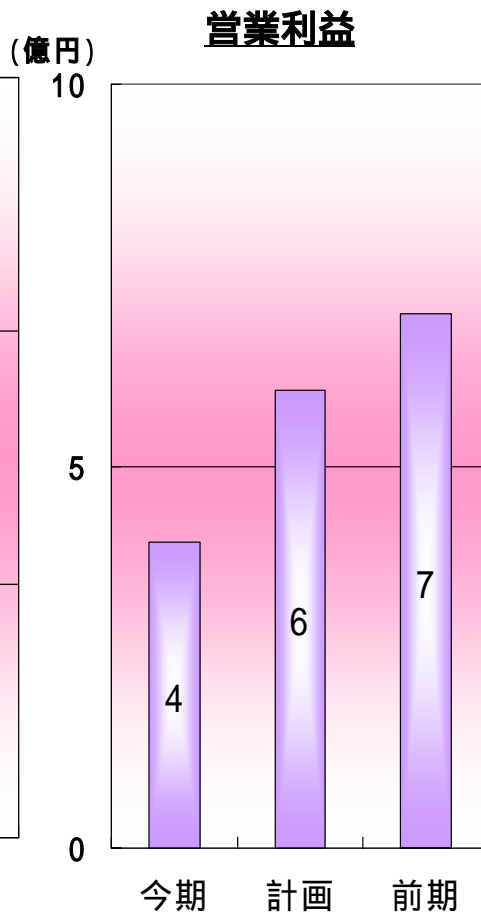
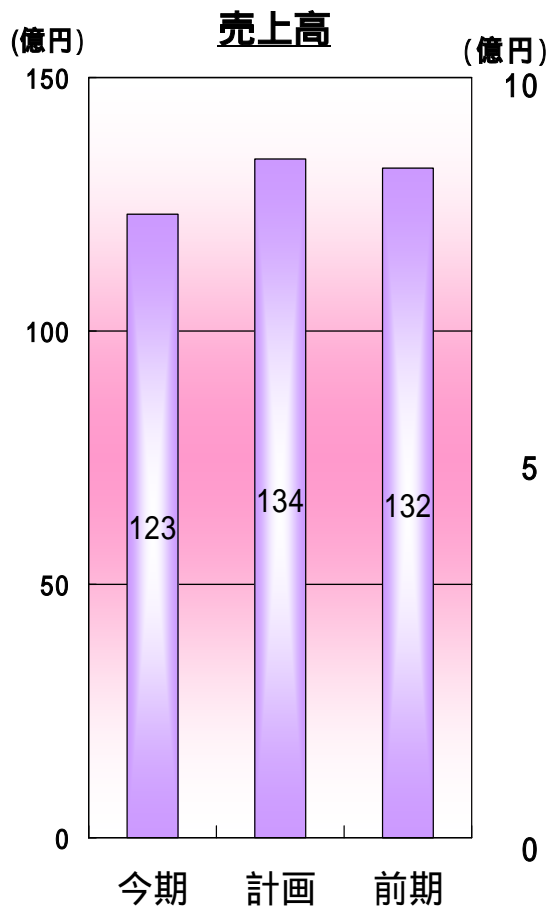


トピックス

1. コンドロイチン
ヒアルロン酸 好調
DHA
2. 調味料・乾燥食品 不振



アジア・オセアニアユニット

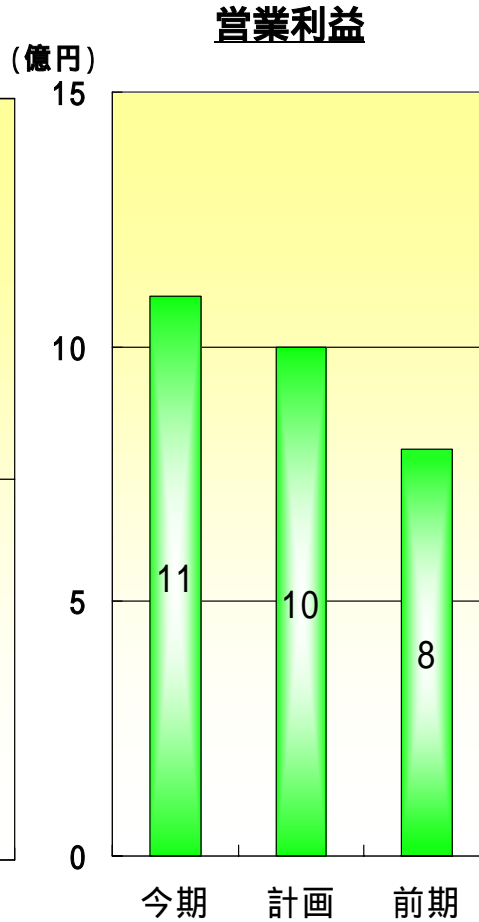
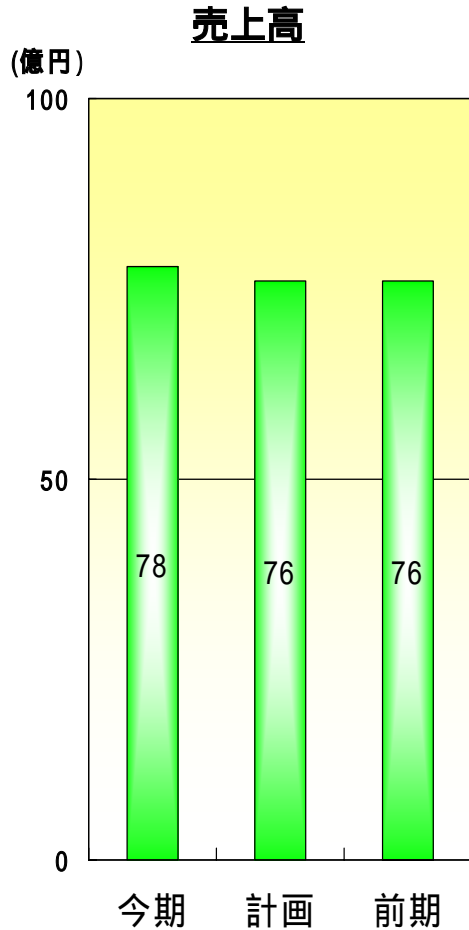


トピックス

1. 加工原料高騰のため
生産コスト上昇
2. ツナ缶詰・レトルトツナ
生産遅延



保管・物流セグメント



トピックス

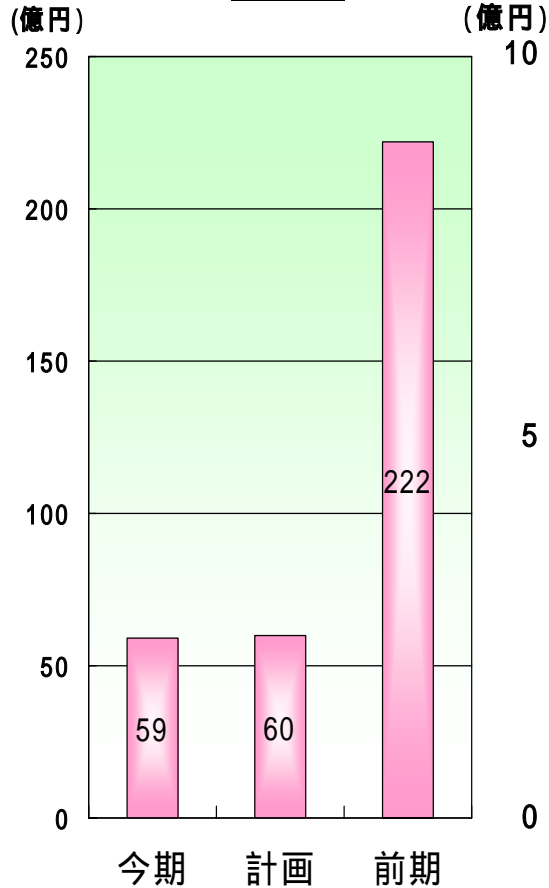
1. 経営統合(4社)
マルハ物流ネット
新日本コールド
大洋冷凍
梅田冷蔵
2. 保管需要増加により
増収・増益



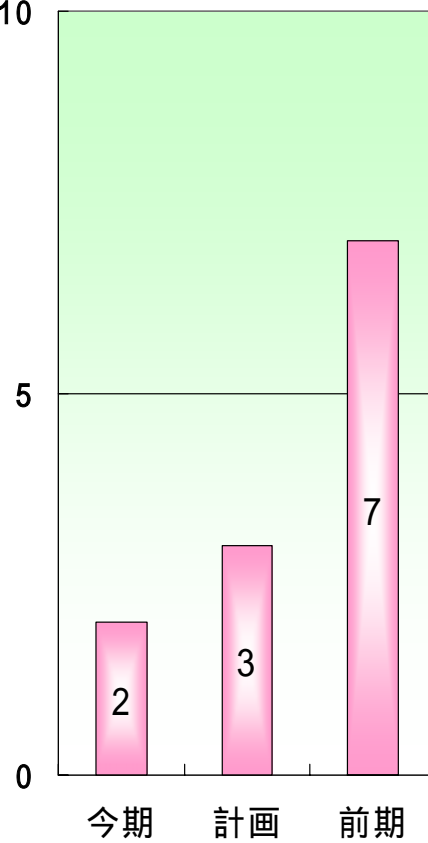
その他事業

MARUHA

売上高



営業利益



トピックス

砂糖事業・漁網網事業の譲渡等

売上高 : 167億円

営業利益 : 3億円

ユニット別通期状況見通し

水産セグメント

漁業・養殖ユニット	海外えび漁業の不漁・原油高により 大幅減益
北米ユニット	助宗すりみ・フィレーの相場堅調により 大幅増益
水産商事ユニット	上期の減益カバーできず 減益 。
荷受ユニット	売上減少傾向続くが、経費削減に努め 減益
戦略販売ユニット	既存事業に加え、北州食品の子会社化により 増益

食品セグメント

業務食品ユニット	新規商材不振と原料高により 減益
市販食品ユニット	原料高と宣伝広告費増加により 減益
化成品ユニット	ヒアルロン酸・コトロイチン等の拡販により 増益
アジア・オセアニアユニット	加工原料高により 減益

保管物流セグメント

保管物流ユニット	在庫率(保管率)高く保管料増収により 増益
----------	------------------------------

その他事業

全社

ほぼ計画通り
業務指導料・広告宣伝費・システム費用等増により 減益

為替動向により営業利益**減**・営業外収益**増**の可能性も

通期業績予想(2006年3月期)

	06年3月期	当初計画	差異
売上高	7,170億円	7,320億円	150億円
営業利益	140億円	164億円	24億円
経常利益	135億円	145億円	10億円
当期純利益	40億円	63億円	23億円

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利は株式会社マルハグループ本社に属します

MARUHA